

記者発表資料	
令和6年8月23日	
担当課 (担当)	デジタル戦略課 (山根 寿彦)
電 話	30-8025 (内線 7060)

## デジタルを活用した生活支援サービス『スーパーアプリ』の構築に向けた実証実験の進捗について

本市では、デジタルを活用した市民サービスの向上のひとつとして、先月、市内民間事業者4社と、『デジタルを活用した生活支援サービス（スーパーアプリ）の構築に向けた連携協定』を締結しました。実証実験を迎えるにあたり、事業の進捗状況を以下のとおり情報提供します。

### 記

#### 1 協定締結

- (1) 協定の名称  
デジタルを活用した生活支援サービス（スーパーアプリ）の構築に向けた連携協定
- (2) 協定の目的  
民間のサービスと、市役所の行政サービスを統合した市民生活を支援する公民連携のプラットフォーム構築の実証実験を行い、デジタルを活用した生活支援サービスの構築の検討を進めることを目的とし、地域 DX 推進の下支えとする。
- (3) 主な協定内容
  - ・市民に生活支援サービスを提供する公民連携プラットフォーム構築
  - ・公民連携プラットフォームを活用した公民双方の各種サービスの提供
  - ・スマートシティの実現に向けた調査研究
- (4) 協定締結  
令和6年7月8日
- (5) 事業者  
株式会社 LIMNO、株式会社アクシス、日本海ケーブルネットワーク株式会社、株式会社鳥取テレトピア、鳥取市

#### 2 実証実験

##### (1) 事前検証

期間：7/9～9月末（[現在：実験中](#)）

対象：連携協定を締結した5者の職員（家族）でテスト利用（各10名：計50台）

目的：市民への実証実験に向けた事前の動作検証、課題の洗い出し

##### (2) 市民を対象とした実証実験

期間：9月～10月末

対象：若葉台 100名規模（[地元役員に説明し、現在、利用者申込受付中](#)）

佐治町 地区全体（30名規模）で調整中（8月下旬に説明会開催予定）

修立、明德、賀露の一部15名規模（[見守りエリアとして市社協等と連携して調整中](#)）

内容：各戸へタブレットを配布し、スーパーアプリを体験してもらう

目的：お買い物、見守り、民間サービス、市の行政サービスをタブレットで提供することで、市民生活の利便性の向上を図る



【画面イメージ】